

今月号の特集テーマは「接触皮膚炎」です。日常診療でも遭遇する機会の多い疾患と思います。本号では8編の接触皮膚炎の症例報告が掲載されています。皆様の診療に是非お役立て頂ければ幸いです。

話は変わりますが（私事で恐縮ですが）、2026年10月15日（木）～18日（日）に国立京都国際会館で第75回日本アレルギー学会学術大会を主催することになりました。本学術大会で皮膚科が会頭を担当するのは、2007年に第57回日本アレルギー学会秋季学術大会（本学術大会の前身）を横浜市立大学の池澤善郎先生が主催されて以来であり、実に19年振りとなります。また、日本アレルギー学会春季臨床大会を含めても、皮膚科が会頭を担当するのは、2012年に第24回日本アレルギー学会を大阪大学の片山一朗先生が主催されて以来であり、14年振りとなります。日本アレルギー学会は内科、小児科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科の5領域にまたがる学会ですが、内科、小児科に次いで会員数が多い皮膚科領域で久しぶりに学術大会を担当できることを光榮に思っています。

実は、会頭に選出された後に、第75回日本アレルギー学会学術大会は日本アレルギー学会（JSA）、世界アレルギー機構（WAO）、アジア太平洋小児アレルギー・呼吸器科学・免疫学協会（APAPARI）の3学会合同の国際学会（JSA/WAO/APAPARI Joint Congress 2026）として開催されることが決まりました。本学術大会はJSAにとって4回目のWAOとの共催になりますが、前回（3回目）は2020年に現日本アレルギー学会理事長である海老澤元宏先生（国立病院機構模稜原病院臨床研究センター長）が主催されました。当時は丁度、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が蔓延し始めた時期で、大半はウェブ開催となりました。海老澤先生は「今回は一種のリベンジだ」と仰っており、現在、海老澤先生の強力なご指導の下、鋭意準備を進めております。学術大会のテーマはTowards the Future of Allergology: Broader and Deeper!と致しました。昨年ノーベル生理学・医学賞を受賞された大阪大学特別荣誉教授の坂口志文先生にKeynote Lectureをお願いすることができました（実は2020年のJSA/WAO Joint Congressでも坂口先生にご講演頂きました）。是非、皮膚科の先生方にも本学術大会に多数ご参加頂ければ幸いです。

（佐伯秀久）

— 顧 問 —

大原 國章 大塚 藤男

— 編集委員 —

土田 哲也 五十嵐敦之 相馬 良直 林 伸和 佐伯 秀久

「皮膚科の臨床」第68巻 第5号 5月号 2026年5月1日発行（毎月1回1日発行） 定価 3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%） 年間購読料金 定価 51,480 円（本体 46,800 円＋税 10%） 〔年間13冊（臨時増刊号、増大号を含む）の誌代〕 〔年間予約購読者に限り送料無料〕	発行所 金原出版株式会社 発行者 前田 達也 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14 TEL 03(3811)7165〔編集室直通〕 TEL 03(3811)7184〔営業部直通〕 FAX 03(3813)0288 ホームページ www.kanehara-shuppan.co.jp 印刷所 三報社印刷株式会社 TEL 03(3637)0005 広告申込先 (株)文京メディカル TEL 03(3817)8036
--	--

- ・本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物への利用に関する原著作者の権利は、金原出版株式会社が保有します。
- ・教育機関、医療機関、企業などにおいて本誌を無断で複製すること（コピー、スキャン、デジタルデータ化など）は「私的使用」など著作権法上の限られた例外にはあらず、違法となります。また、限られた例外に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して複製を行うことは違法となります。
- ・**JCOPY**＜出版者著作権管理機構 委託出版物＞
本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、E-mail：info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。
- ・本誌をAI（人工知能）分野に関する用途で許諾を得ずに利用する行為は、当社の利益を不当に侵害する可能性があります。必ず事前に当社までお問い合わせください。